

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

## 記

《受託開始日》 令和3年3月1日（月）受付分より

## 《検査要項》

検査項目名称	インターフェロン-λ3 (IFN-λ3)
検査コード	5751
JLAC10	5J053-0000-023-052-01
診療行為コード	160225950
検体量	血清 0.4mL
保存・容器	冷蔵・A1→A2
実施料（判断料）	340点（免疫）
所要日数	1～3日
検査方法	CLEIA法
基準値（参考）	13.6 pg/mL 未満 （SARS-CoV-2 陽性患者の重症化リスクの判断補助におけるカットオフ値）
実施部署	ファルコバイオシステムズ 総合研究所

保険収載名称：インターフェロン-λ3 (IFN-λ3)

保険注釈：ア COVID-19と診断された患者（呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。）の重症化リスクの判定補助を目的として、2ステップサンドイッチ法を用いた化学発光酵素免疫測定法により、インターフェロン-λ3 (IFN-λ3) を測定した場合は、HBV ジェノタイプ判定の所定点数を準用して算定する。

イ 本検査を2回以上算定する場合は、前回の検査結果が基準値未満であることを確認すること。

ウ 本検査の実施に際し、HBV ジェノタイプ判定の所定点数を準用して算定する場合は、肝炎ウイルス関連検査の「注」に定める規定は適用しない。

## 《 解 説 》

インターフェロン-λ3 (IFN-λ3) はⅢ型インターフェロンの一つであり、抗ウイルス活性と免疫応答の調整を行っている分子です。生体内では、IFN-λ3は受容体に結合した後、JAK活性化及びSTAT1/STAT2のチロシンリン酸化を誘導します。リン酸化されたSTAT1およびSTAT2は、他の因子と結合して、転写因子複合体を形成し、核内へ移行することで様々なサイトカイン類を含む免疫応答に関連する分子の発現、調整を行っていると言われていました。

杉山ら(1)は、SRAS-CoV-2に感染した患者血清中のIFN-λ3を経時的に測定し、酸素吸入・人口呼吸器の装着が必要になる症例において、血清中のIFN-λ3の濃度が上昇する現象を見出し、本分子の測定がSARS-CoV-2陽性患者の重症化予測に寄与する可能性を報告しています。

- (1) Sugiyama M et al.:Serum CCL17 level becomes a predictive marker to distinguish between mild/moderate and severe/critical disease in patients with COVID-19.  
:Gene in press.

参考資料：試薬添付文書

## 《 注 意 》

- SARS-CoV-2 陽性患者において、重症（呼吸不全を伴う中等症Ⅱ以上）化する前に、インターフェロン-λ3 (IFN-λ3) の上昇が一過性に認められることが報告されているため、測定値がカットオフ値を超える一過性の上昇後、カットオフ値以下まで低下した時期に採血を行った場合は、重症化を予測できない可能性があります。重症化リスクの判定補助には、他の関連検査及び臨床症状等も含めて総合的に判断してください。
- インターフェロン-λ3 (IFN-λ3) はC型慢性肝炎患者の血清で高値を示すことが報告されていますので、測定結果に基づく診断は他の関連検査及び臨床症状等により総合的に判断してください。